



# サービス 通信

富士重工業株式会社

本社：東京都新宿区

西新宿1-7-2 (スバルビル)

NO. FAS-043

発行 46年3月15日

1. 標 題 冷氣取入口の改善
2. 適用機体 FA-200の機体で製造番号 1~101号機及び航技研機
3. 適用度 要望事項
4. 目 的 スクープを取り付け、風防上面に4ヶの吹出口を設けて冷氣導入方式とする。
5. 指 示 スクープを取り付け、風防上面に4ヶの吹出口を設ける。
6. 実施時期 任 意
7. 承 認 航空局承認
8. 所要部品 この作業を行うには下記の部品が必要である。

部 品 番 号	名 称	1機当個数
セメダイン #540 #508 #575	ADHESIVE	AR
2215	AIR VALVE ASSY	4
200-550076-003	HASE BAND 32Φ	4
200-550071-011	D U C T	2
200-534323-001	SCOOP ASSY	2
200-534322-004	BRACKET ASSY	1
200-534322-003	BRACKET ASSY	1
200-534321-602 (004)	BRANKET ASSY	1
200-534321-601 (003)	BRANKET ASSY	1
200-534320-006	GUIDE	1

FAS-043

PAGE 1 OF 8

部 品 番 号	名 称	1 機当 個数
200-534320-005	GUIDE	1
200-534320-004	GUIDE	1
200-534320-003	GUIDE	1
200-534102-057	BRANKET	2
200-534102-055	BRANKET	1
200-534102-053	BRANKET	1
200-534100-062	WALL ASSY	1
200-534100-061	WALL ASSY	1
200-420211-023	DOOR	2
200-420211-022	DOUBLER	1
200-420211-021	DOUBLER	1
200-420005-064	DOUBLER	1
200-420005-063	DOUBLER	1
200-420005-047	SEAL	1
200-420005-140	STOPPER	1
200-420005-139	STOPPER	1
MS 24694-50	SCREW	16
MS 24665-132	PIN COTTER	2
MS 20470AD4	RIVET	60
MS 20426AD4	RIVET	36
F-0486-00138	SEAL RUBBER	4
EC-1239	SEALANT	AR
CR163-4-2	RIVET	4

9. 特殊工具 な し
10. 重量重心 無視できる。
11. 準拠資料 な し

FAS-043

PAGE 2 OF 8

12. 所要工数 40MH

13. 作業手順

1. 機体からサービスマニュアル項目7-4-11に依り可動風防組立を取りはずす。
2. 前方ゴムシール及びストッパーを取りはずす。
3. スクリュー20ヶ, 鉄8ヶを取り天井カバー(200-534105-003, -005)を取りはずす。
4. スクリュー14ヶを取り前方左右カバー(200-534105-007, -008)を取りはずす。
5. 左右内張り組立(200-534100-029, -030)を取りはずす。
6. 天井部防音防熱材(200-534102-53, -055, -057)を取りはずす。
7. 風防ロック機構-ケーブル組立(200-420125-013, -017)を次の手順に依り取りはずす。(図-10参照)
  - (1) 内側ハンドル①をスクリュー1ヶをゆるめ取りはずす。
  - (2) 内側カバー②をスクリュー6ヶをゆるめ取りはずす。
  - (3) 外側ハンドリ⑩をスクリュー2ヶをゆるめ上方に引出す(中間迄)
  - (4) リンク組立③及び⑨を下方にずらす。
  - (5) ケーブル組立⑧とリンク⑨をピン④を取りはずし分離する。
  - (6) バレル⑥の安全線を切り, ピン⑦とケーブル組立を分離する。
  - (7) クランプ⑤3ヶ所を取りはずす。
8. 前項4のカバー裏面, フレーム外板を天井中央部左右鉄5本位を残し鉄を切り取り, 取りはずす。
9. 空気取り入れドア組立(200-420211-003)を(ヒンジも同時に)取りつけている鉄4本を切り取りはずす。
10. 図-1, ㊸部個所を図-8の要領で改修する。
  - (1) 旧ダブラーを取り付けている鉄を切りダブラーを取りはずす。
  - (2) 新しいダブラー(200-420211-021, -022)を前項と同一個所に取り付ける。
  - (3) 開口部を塞ぎ板(200-420211-023)で塞ぐ。
  - (4) ドアスライド, ブラケット(200-420211-017, -018)を図-9の要領で切断する。
11. 図-1, ㊸部個所外板を図-3に依り開口する。

12. 図-1, ㉔部個所にガイド (200-534320-003, -004) 及びスクープ組立 (200-534323-001) を図-2及び図-7の要領に依り取り付け。
13. 図-1, ㉕及び㉖部個所補強材を図-5及び図-4に依り開口する。又図-4に依り開口された図示位置にダブル (200-420005-063, -064) を取り付け。図-5に示されたダブル (200-420005-081, -082) を打鉄15ヶ所を切り除去する。
14. 図-1, ㉗部個所にブラケット組立 (200-534321-003, -004) とガイド (200-534320-005, -006) を図-6の要領にて取り付け。
15. 図-1, ㉘部個所にブラケット組立 (200-534322-003, -004) を図-6の要領にて取り付け。
16. 前項7で取りはずされたロック機構ケーブル組立を前項14のブラケットを通し取りはずしの逆手順に依り取り付ける。
17. エアバルブ組立 (2215) 4ヶを前項14及び15のブラケット組立にスクリー (MS24694-50) 16ヶで取り付ける。
18. 前項8のフレーム外板を取り付ける。
19. 新しい天井部防音, 防熱材 (200-534102-053, -055, -057) を図-12の要領で切欠き追加し, セメダイン #540で接着する。
20. ダクト (200-550071-011) 2ヶをクランプ (200-550076-003) 4ヶでブラケット組立に図-6の要領で取り付ける。
21. 天井部カバー (200-534105-003, -005) を図-13の要領で切欠き及びシールゴム (F-0486-00138) 4ヶを追加し, 取りはずしの逆手順で取り付ける。
22. 前方左右カバー (200-534105-007, -008) を取りはずしの逆手順にて取り付ける。
23. 新しい前方シールゴム, ストツパーを取り付ける。
24. 改修部のタッチアップを実施する。
25. 改修された左右内張り組立 (200-534100-061, -062) をセメダイン #508で接着する。(図-11参照)
26. 風防組立を取りはずしの逆手順で取り付ける。

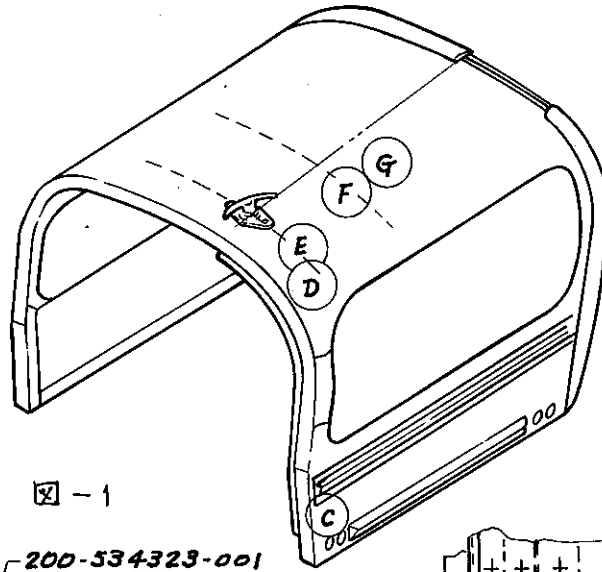


図-1

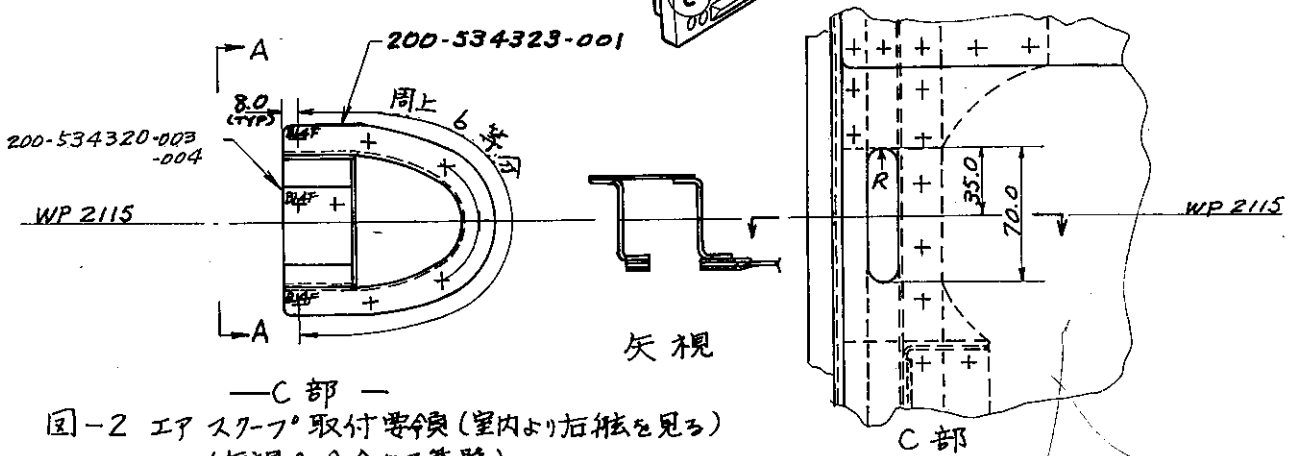


図-2 エアスラッシュ取付要領 (室内より右舷を見る)  
(矢視A-A合せて参照)

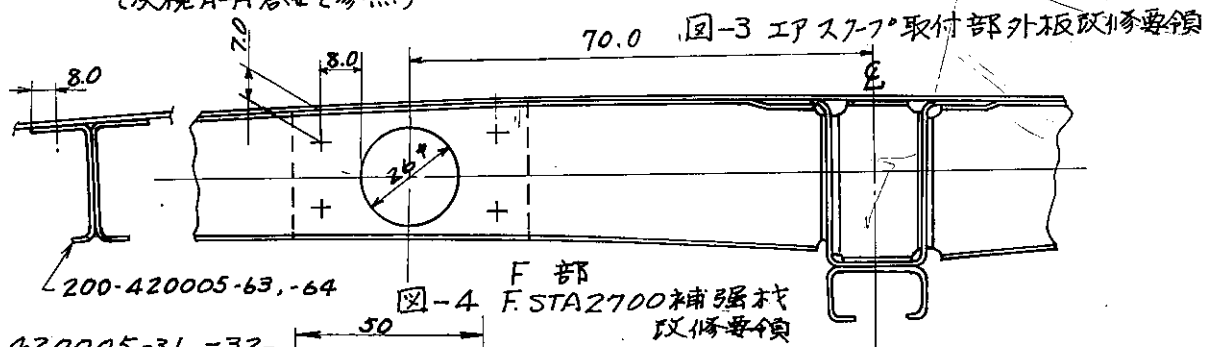


図-3 エアスラッシュ取付部外板改修要領

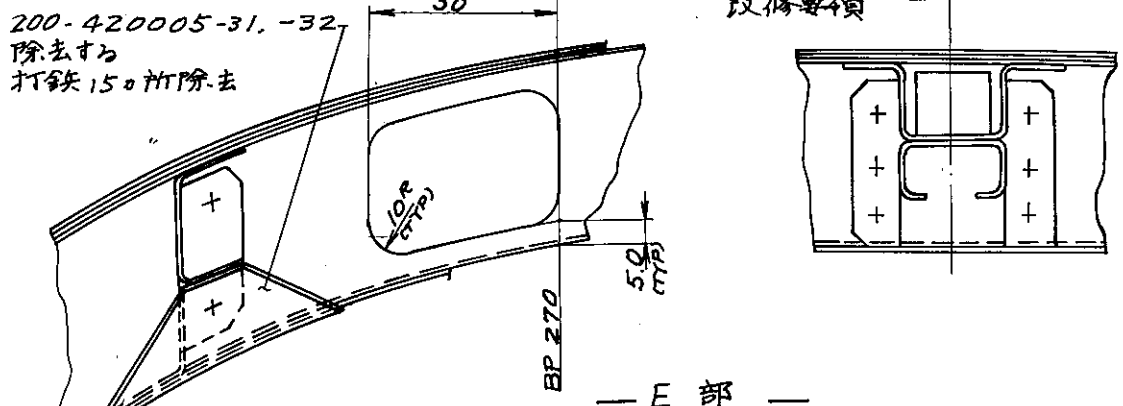


図-4 F. STA 2700 補強材改修要領

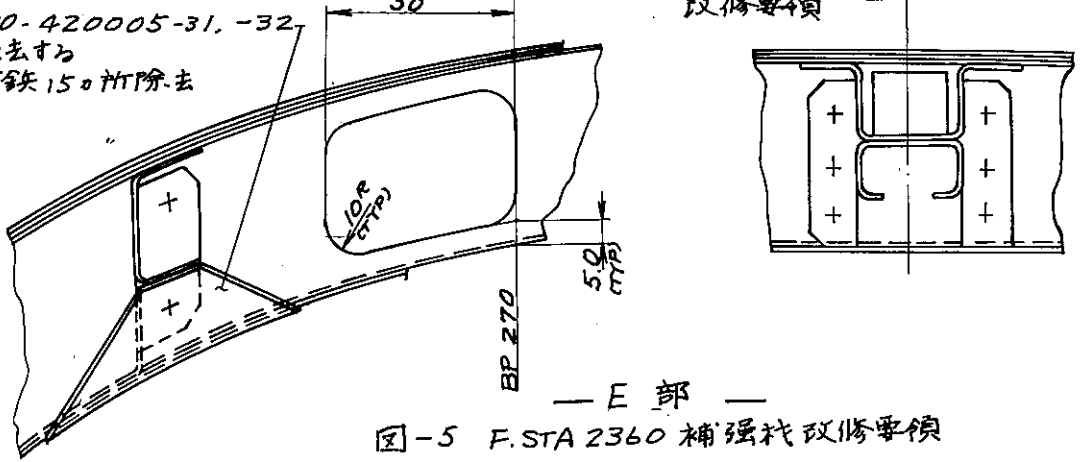


図-5 F. STA 2360 補強材改修要領

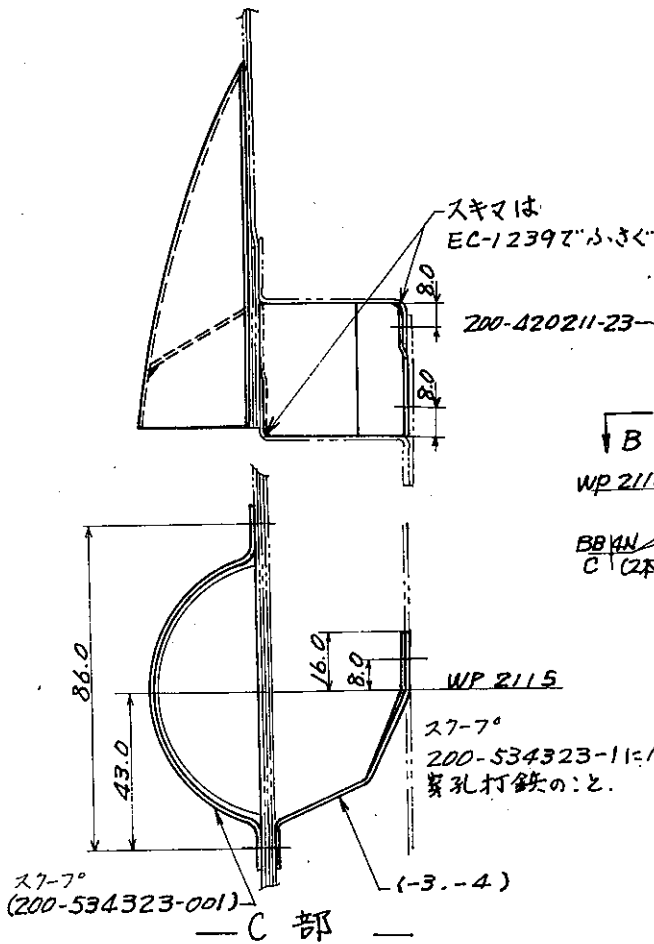
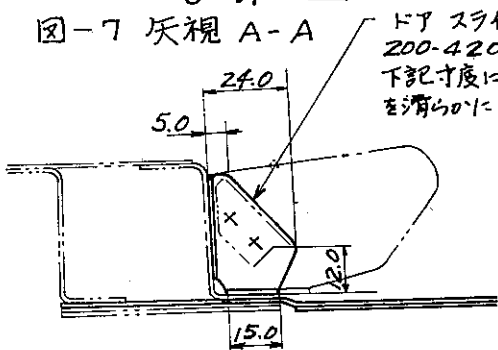


図-7 灰視 A-A



(新形状)

図-9 灰視 B-B

(旧形状)

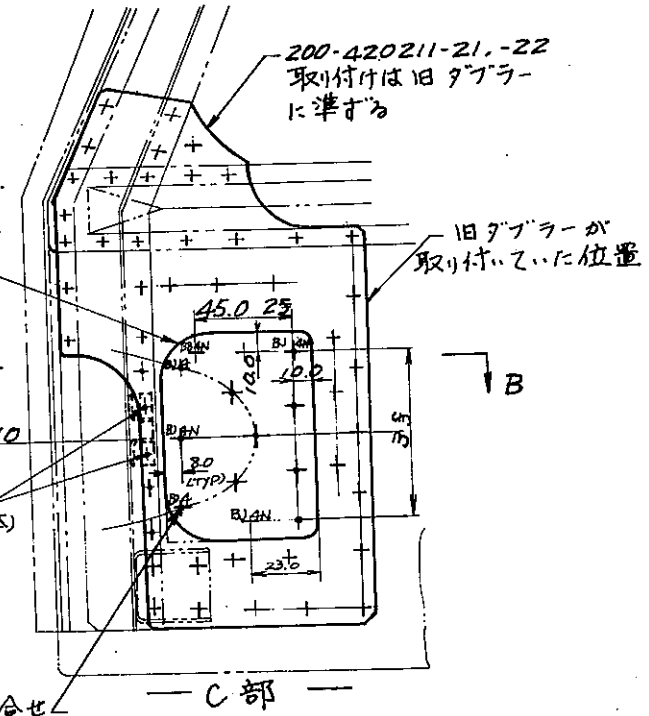


図-8 旧エア ス7-7° 取付部改修要領 (灰視 B-B 合せて参照)

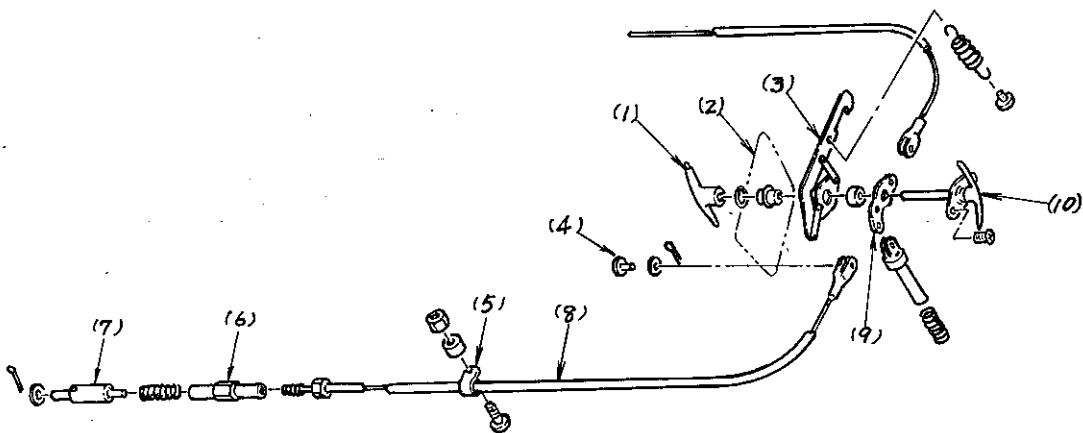


図-10 風防ロック機構

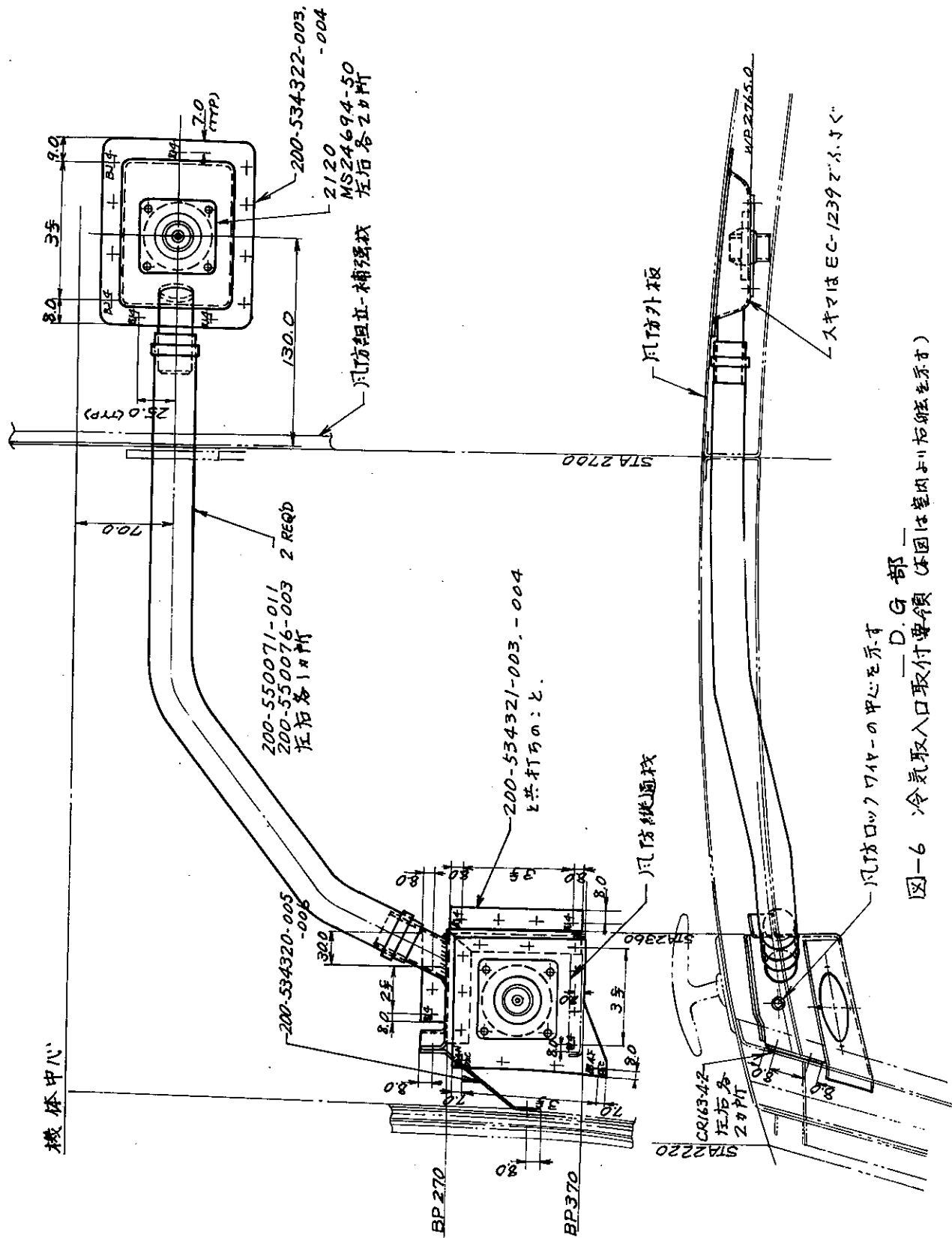


図-6 冷気取入口取付要領 (本図は室内より右向きを示す)

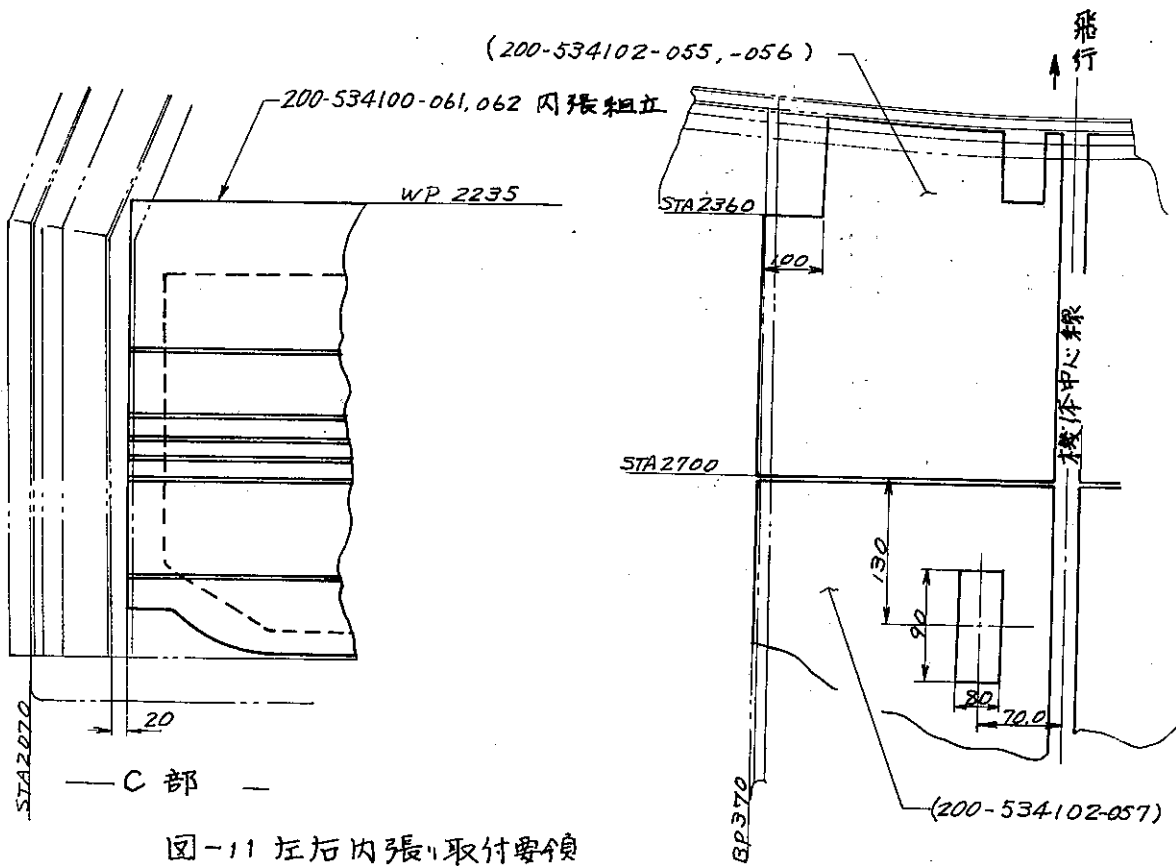


図-11 左右内張り取付要領

— D, G 部 —  
図-12 風防天井防音板切欠追加(4ヶ所)要領

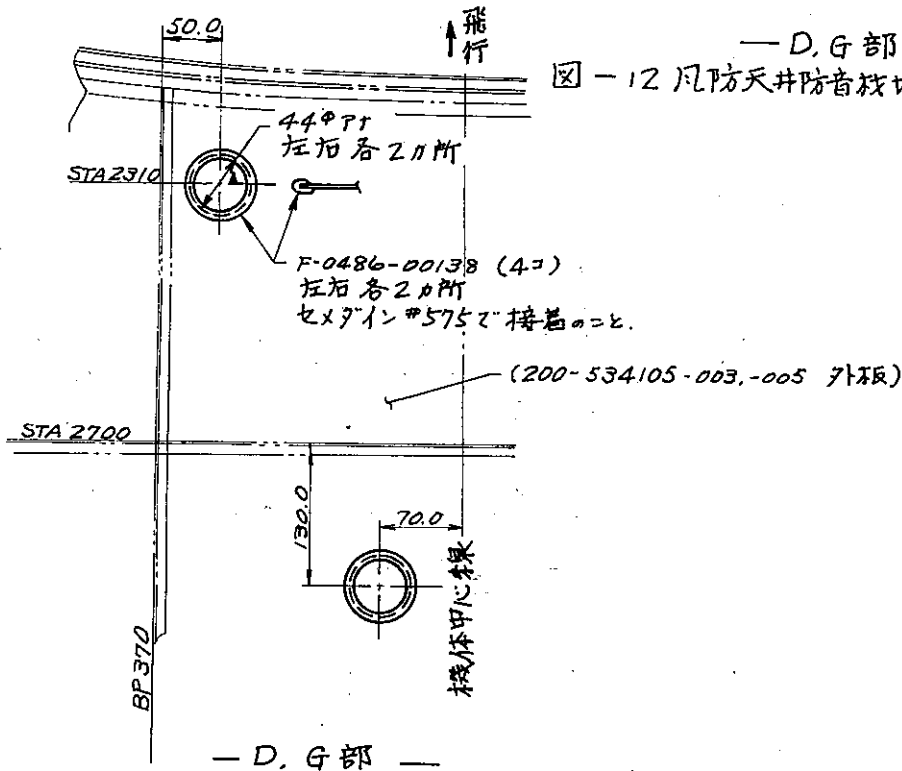


図-13 風防天井カバー穴追加及w シール・ゴム追加要領